



のぞみ

荒川区立第五中学校

第1学年通信

第17号

2023年6月23日(金)

備えあれば…

先週の土曜授業では、「セーフティ教室」が行われました。荒川区区民生活部防災課のお二人をお招きして、「荒川区の防災」について、特に地震対策を中心にお話をいただきました。

荒川区は人口密度が高いことが特徴で、特に木造住宅密集地域が多く、しっかりと備えて行動しなければ、大きな災害につながるということがわかりました。阪神淡路大震災や東日本大震災の教訓も教えていただきました。地震が原因となる津波や建物の倒壊だけではなく、火災の怖さもわかりましたね。

このような過去の災害の学びから、荒川区でも様々な取り組みをしています。「燃え広がらない・燃えない街づくり」をはじめ、家具等転倒・落下・移動防止器具の費用の手助けや、感電ブレーカー設置の促進など、各家庭での防災の取り組みも応援してくれています。

まずは自分の身を自分で守る取り組みを、ぜひ家族の方と話し合ったり、確認したりしてください。また、災害時での中学生は、大人を助ける大切な世代と考えられています。避難所などで過ごすことも想定し、一人ひとりが今備えるべきこと、災害が起きた際はどのような行動をするべきか、改めて考えましょう。



災害が起きないようにすることはほぼ不可能だけど、その分様々な対策ができることを知った。特に、「無事ですシール」がすごいと思った。「無事」ということがどれだけ大切かが今日の講話でわかりました。また、今まではまだ自分が幼かったころは守られる側だったけど今度は「誰かを守れる」ように自分の身は自分で守れるように、集合場所を決め、色々な人の役に立てるように、日々努力できるようにがんばりたいと思う。

東京都の総合危険度の1位、2位が荒川区なのが、とても驚きました。1位が荒川6丁目、2位が町屋4丁目でした。私は町屋4丁目に住んでいるので、しっかりと防災していけるようにしたいと思いました。そのために講話でおっしゃっていた、家具の転倒・落下・移動の防止を確認して、家族とどこを避難所にするのか、何を買っておけばいいのか話し合っていきたいです。

「自分の身は自分で守る」大切さを改めて知った。1週間分の避難生活で、21ℓの水や35回分のトイレが必要だと知って、驚いた。災害が起こる前に準備をして、すぐに避難できるようにすることが大切だとわかった。また、どこに避難するのか家族で事前に話し合っ、実際にその場所に行って避難経路を確認するのも大切だと思った。災害はいつどこで起こるかわからない。突然地震が発生しても、冷静な判断ができるようにしたい。

【来週の予定】 ※この土・日で清里の荷物を準備しよう！

6月26日(月)	生徒会朝礼	①学 ②～⑥授業
27日(火)		①～⑥授業
28日(水)		①～④授業 ⑤道
29日(木)		①～④授業 ⑤⑥前日指導(荷物持参)
30日(金)	開校記念日	

